平成29年度　新聞記事等一覧（1月分）

No.	掲載年月日	媒体名		記事（番組）表題	記事（番組）概要	記事（番組）関係者等	
1	1月1日	サンパウロ新聞	WEB	【2018年新春特集】もう一つの学生運動 日本学生移住連盟 ―移住に賭けた我らが世界―	海協連が55年１月に開いたが学移連の発起人会に、東京農工大学海外移住研究会が参加したことが紹介される。		
2	1月1日	科学新聞	2面	国立大学関連特許を網羅的に調査 法人化前から緩やかに増加	国立大学の特許数と論文数の表の11位に本学が掲載される。		
3	1月2日	대전일보	WEB	국제반 없는 일반고에서 일군 '일공' 국비유학의 꿈	일반고인 논산 대건고에서 지난해 '일공' 국비장학생이 4명 나왔다. 3학년 임재석(교토대 전기전자공학부), 이종호(홋카이도대 정보일렉트로닉스학과), 신재영(도쿄농공대학 공학부 화학시스템공학과), 이용창(고베대학 정보공학 지능학부 컴퓨터공학과) 학생이 주인공이다. ※韓国語記事。日韓共同理工系学部留学プログラムの記事の中で、本学化学システム工学科に留学した신재영さんが紹介される。	化学システム工学科	신재영さん
4	1月5日	.dot	WEB	新春大予想　2018年のノーベル賞有力候補4人とは？〈週刊朝日〉	ノーベル賞候補者に関する記事の中で、化学賞の有力候補者として、本学遠藤章特別栄誉教授が紹介される。		遠藤章特別栄誉教授
5	1月5日	yahooニュース	WEB	新春大予想　2018年のノーベル賞有力候補4人とは？〈週刊朝日〉	ノーベル賞候補者に関する記事の中で、化学賞の有力候補者として、本学遠藤章特別栄誉教授が紹介される。		遠藤章特別栄誉教授
6	1月5日	電子デバイス産業新聞	WEB	第230回 苛烈化する次世代蓄電池開発 環境対応車需要増で期待高まる	次世代蓄電池に関する記事の中で、NEDOの「革新型蓄電池先端科学基礎研究事業（RISINGII）」の委託先として本学が紹介される。		
7	1月8日	朝日新聞	WEB	熊本）益城町で成人式　地震からの復興に「貢献」誓う	熊本地震で大きな被害を受けた益城町の町文化会館で行われた成人式の記事で東京農工大学に通う小田彩加さん（20）のコメントが紹介される。	本学学生	小田彩加さん
8	1月9日	日経産業新聞	6面	ナノ粒子　分散させる薬剤 東京農工大 様々な溶媒で効果	東京農工大学の岡田洋平助教と神谷秀博教授らが、様々な溶媒中にナノ粒子を分散させる薬剤を開発したことが紹介される。	工学研究院	岡田洋平助教 神谷秀博教授
9	1月9日	福井県警察本部ホームページ	WEB	FOCUS　交通事故警戒情報！！	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	工学研究院スマートモビリティ研究拠点	毛利宏教授
10	1月9日	静岡県警ホームページ	WEB	動画で事故防止 正面衝突のヒヤリハット映像	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	工学研究院スマートモビリティ研究拠点	毛利宏教授
11	1月9日	福井新聞	面	FOCUS　交通事故警戒情報！！	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	工学研究院スマートモビリティ研究拠点	毛利宏教授
12	1月10日	食品と開発	WEB	グルコサミン周辺素材の話題が一堂に 第14回ファンクショナルフード学会学術集会開く	第14回ファンクショナルフード学会学術集会（大会長：野村義宏氏、東京農工大学農学部付属硬蛋白質利用研究施設）が1月6日に開催され、本学 松田浩珍教授が基調講演を行ったことが紹介される。	農学研究院	野村義宏教授 松田浩珍教授
13	1月11日	朝日新聞	WEB	群馬）尾瀬全域の山小屋周辺で外来植物の生息確認	尾瀬の動植物の現状や温暖化、ニホンジカなどによる影響を調べるため、昨年から始まった第４次尾瀬総合学術調査の初年度調査報告会に関する記事で、本学星野義延教授のコメントが紹介される。		
14	1月11日	大学ジャーナル	WEB	東京農工大学、ナノ粒子の特性を発揮させる分散剤のオーダーメイド化に成功	東京農工大学大学院工学研究院の岡田洋平助教、神谷秀博教授らのグループは、ナノ粒子を水にも油にも安定に分散させることに成功したことが紹介される。	工学研究院	岡田洋平助教 神谷秀博教授
15	1月12日	科学新聞	6面	製糸資料活用で連携	農工大博物館と岡谷蚕糸博物館	科学博物館	
16	1月13日	netsfrauen	WEB	Geht doch! Mikroplastik-Verbot in Kanada, Großbritannien und Neuseeland – Plastic Microbead bans come into impact in UK, Canada and New Zealand	Eine japanische Studie aus 2016 zeigt., dass fast 80%der japanischen Sardellen, die in der Tokyo Bay gefangen wurden, in ihrem Verdauungssystem Plastikmüll aufweisen. Die Forschungsgruppe von Professor Hideshige Takada von der Tokyo University of Agriculture and Technology zeigte sich beunruhigt über das besorgniserregende Ausmaß der Verschmutzung in den japanischen Gewässern. ※ドイツ語記事。マイクロプラスチックの禁止に関する記事の中で、本学高田秀重教授の調査結果が紹介される。	農学研究院	高田秀重教授
17	1月14日	日本テレビ	TV	所さんの目がテン！	第1408回「桝太一の生き物バンザイ！～東京タヌキの科学～」 生き物大好きな桝太一アナウンサー持ち込み企画！今回は、知っているようで実は知らない、タヌキを科学します。 食肉目動物保護学研究室の金子弥生准教授と、研究室の院生も出演。	農学研究院	金子弥生准教授
18	1月15日	静岡新聞	夕刊社会面	動画で事故防止 カーブ手前で減速を	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	工学研究院スマートモビリティ研究拠点	毛利宏教授
19	1月15日	technologynetworks	WEB	Researchers Develop Novel 'One-pot' Approach to Conjugated Tetraenes Synthesis	平野雅文教授らが、医薬品や電子材料の基本構造である「共役テトラエン」と呼ぶ種類の化合物を廃棄物を出さずに合成する手法を開発したことが紹介される。	工学研究院	平野雅文教授
20	1月15日	徳島新聞	WEB	訃報（徳島関係）	岡田幸助氏（前ゲンボク社長、前徳島県経営者協会会長）	卒業生	岡田幸助さん
21	1月15日	phys org	WEB	An efficient approach of conjugated tetraenes from butadiene and alkynes	TUAT researchers have achieved the new synthetic route of conjugated tetraenes from inexpensive and easily available 1,3-butadiene and substituted acetylenes by a one-pot approach under mild conditions.	工学研究院	平野雅文教授
22	1月15日	EurekAleart!	WEB	An efficient approach of conjugated tetraenes from butadiene and alkynes	TUAT researchers have achieved the new synthetic route of conjugated tetraenes from inexpensive and easily available 1,3-butadiene and substituted acetylenes by a one-pot approach under mild conditions.	工学研究院	平野雅文教授
23	1月18日	読売新聞	5面	科学 都心にタヌキ？	都心に住むタヌキに関する記事の中で、金子弥生准教授（野生動物保護学）のコメントが紹介される。	農学研究院	金子弥生准教授
24	1月18日	日経産業新聞	5面	次世代の先導者 止血と同時に治療するゲル開発	村上義彦准教授のバイオマテリアルに関する研究が紹介される。	工学研究院	村上義彦准教授
25	1月19日	日経産業新聞	6面	廃棄物出さず化合物合成 共役テトラエン　東京農工大が手法	平野雅文教授らが、医薬品や電子材料の基本構造である「共役テトラエン」と呼ぶ種類の化合物を廃棄物を出さずに合成する手法を開発したことが紹介される。	工学研究院	平野雅文教授
26	1月19日	NHK福岡放送局	TV	「なるほど実感報道ドドド！」（九州沖縄地方放送）	ドライブレコーダについて取り上げられ、ドラレコが記録した膨大な走行データの分析からわかること、という切り口で、スマートモビリティ研究拠点が取材を受け。ヒヤリハットが14万件に迫ろうとしている「ヒヤリハットデータベース」について紹介するとともに、ビッグデータ化することで得られた内容としてデータ解析結果協力、インタビュー等が紹介される。	スマートモビリティ研究拠点	
27	1月19日	毎日新聞	WEB	高田守先生の生き物語り	（番外編）完璧すぎる時間感覚	卒業生	高田守さん
28	1月19日	読売新聞	25面	多摩版講演会	東京農工大学特別講演会「ジャイアントパンダの誕生から考える野生動物の保全」	卒業生	金子美香子さん
29	1月20日	IKUEI NEWS	雑誌	大学を訪ねて 東京農工大学	大野学長および3名の学生のインタビューが掲載される。		大野弘幸学長 高橋雅大さん（工学部機械システム工学科 3年） 細野達也さん（農学部環境資源学科3年） 中原維新さん（工学部生命工学科1年）
30	1月20日	東京新聞	4面	海のプラスチックごみ削減へ 国連が新組織 代替品など検討	プラスチックごみについて本学高田秀重教授のコメントが紹介される。	農学研究院	高田秀重教授

No.	掲載年月日	媒体名		記事（番組）表題	記事（番組）概要	記事（番組）関係者等	
31	1月21日	NHK福岡放送局	TV	「なるほど実感報道ドドド！」（九州沖縄地方放送）	ドライブレコーダについて取り上げられ、ドラレコが記録した膨大な走行データの分析からわかること，という切り口で、スマートモビリティ研究拠点が取材を受ける。ヒヤリハットが14万件に迫ろうとしている「ヒヤリハットデータベース」について紹介するとともに、ビッグデータ化することで得られた内容としてデータ解析結果協力、インタビュー等が紹介される。	スマートモビリティ研究拠点	
32	1月23日	毎日新聞	WEB	春に駆ける	第67回別大毎日マラソン　県職員OB・吉長倫仁さん（71）　14度目の挑戦心待ち　／大分	卒業生	吉長倫仁さん
33	1月24日	日経産業新聞	7面	解剖　先端拠点	東京農工大学 国際家畜感染症防疫研究教育センター 「不明」残さぬ検出法探る	国際家畜感染症防疫研究教育センター	水谷哲也教授 大松勉准教授
34	1月24日	読売新聞	WEB	草津白根山で火山性微動…気象庁「警戒続けて」	草津白根山で、噴火の前に起きることもある火山性微動を観測したことについての記事で、国土交通省が、東京農工大の准教授ら土砂災害の専門家3人を派遣したことが紹介される。		
35	1月24日	infoseekニュース	WEB	草津白根山で火山性微動…気象庁「警戒続けて」	草津白根山で、噴火の前に起きることもある火山性微動を観測したことについての記事で、国土交通省が、東京農工大の准教授ら土砂災害の専門家3人を派遣したことが紹介される。		
36	1月24日	yahooニュース	WEB	草津白根山で火山性微動…気象庁「警戒続けて」	草津白根山で、噴火の前に起きることもある火山性微動を観測したことについての記事で、国土交通省が、東京農工大の准教授ら土砂災害の専門家3人を派遣したことが紹介される。		
37	1月24日	日本経済新聞	14面	理研グリーン 清水等氏	◇理研グリーン 　清水　等氏（しみず・ひとし）74年（昭49年）東京農工大農卒、クミアイ化学工業入社。12年理研グリーン常務。東京都出身。67歳	卒業生	清水等さん
38	1月24日	日本経済新聞	WEB	理研グリーン 清水等氏	◇理研グリーン 　清水　等氏（しみず・ひとし）74年（昭49年）東京農工大農卒、クミアイ化学工業入社。12年理研グリーン常務。東京都出身。67歳	卒業生	清水等さん
39	1月24日	日刊工業新聞	WEB	理研グリーン、社長に清水等氏	【理研グリーン】清水等氏（しみず・ひとし）７４年（昭４９）東京農工大農卒、同年クミアイ化学工業入社。０７年取締役、０９年常務。１２年理研グリーン常務。東京都出身、６７歳。	卒業生	清水等さん
40	1月24日	日刊工業新聞	3面	理研グリーン、社長に清水等氏	【理研グリーン】清水等氏（しみず・ひとし）７４年（昭４９）東京農工大農卒、同年クミアイ化学工業入社。０７年取締役、０９年常務。１２年理研グリーン常務。東京都出身、６７歳。	卒業生	清水等さん
41	1月24日	NHK NEWS WEB	WEB	土石流の危険低いが監視継続を	草津白根山 噴火の記事で、東京農工大学大学院の白木克繁准教授のコメントが紹介される。	農学研究院	白木克繁准教授
42	1月24日	longevity	WEB	Rooibos: Can It Protect Against Type-2 Diabetes?	Rooibos tea has the potential to prevent, delay and even reduce the progression of Type-2 diabetes, according to new research. The recent studies were conducted by the SA Medical Research Council (SAMRC) and its research partners, the Agricultural Research Council, (ARC, Infruitec-Neitvoorbij, Stellenbosch), the Tokyo University of Agriculture and Technology, the Polutechnic University of Marche (based in Italy) and the National Health Research Institutes in Taiwan.		
43	1月24日	読売新聞	1面	草津白根噴火 複数火口か	国土交通省が東京農工大学の准教授ら土砂災害の専門家3人を派遣したことが紹介される。		